

100学年度

日本近代文化導讀(担当:太田登)

日本の文化的基層を形成する自然・風土・民俗・伝統などの特質について、日本の詩歌の鑑賞をとおして理解を深めることをめざす。

第一学期

- 1：授業の目的・内容・方法について説明する。
- 2：万葉集における自然観について①－国見の歌、春秋の優劣
- 3：万葉集における自然観について②－人麻呂、志貴皇子
- 4：古今和歌集における桜の歌について－貫之、業平
- 5：和泉式部の恋愛歌と死生観について
- 6：新古今和歌集における三夕の歌について
- 7：西行の美意識について
- 8：定家の美意識について
- 9：期中試験
- 10：芭蕉の**自然観**について
- 11：蕪村の視覚的美について
- 12：一茶の**望郷**について
- 13:良寛の人間観について
- 14：正岡子規の花へのまなざし
- 15：伊藤左千夫の**恋愛と自然**
- 16:長塚節の自然へのまなざし
- 17：斎藤茂吉の生への執着
- 18：期末レポートの提出

【評価方法】期中試験40%、期末レポート40%、出席20%

第二学期

- 1：授業の目的・内容・方法について説明する。
- 2：与謝野鉄幹と晶子①
- 3:与謝野鉄幹と晶子②
- 4:山川登美子の慕情
- 5:石川啄木の望郷歌
- 6：北原白秋の都会詠
- 7：若山牧水の旅の歌
- 8：高村光太郎と「父」の関係
- 9：期中試験
- 10:室生犀星と「故郷」
- 11：萩原朔太郎と「犬」と「猫」

12:山村暮鳥と宗教

13:宮沢賢治における「修羅」

14:中原中也と「少年」

15:河東碧梧桐の俳句とその流派

16:高浜虚子の俳句とその流派

17:近代女性俳人

18:俳句会と期末レポートの提出

【評価方法】期中試験40%、期末レポート40%、出席20%